

ペットの賠償責任事故 平均支払保険金は7.9万円

■事故の多い曜日は日曜日、多い月は7月

■事故発生率が高いのは大型犬の「秋田犬」「スタンダード・プードル」「バーニーズ」

■対人事故の45.3%は自宅で発生

アニコム損害保険株式会社（東京都新宿区：代表取締役社長 小森 伸昭）では、保険金支払データを基に、ペットによる賠償責任事故に関する調査、集計を行いました。

■保険金支払額は平均7.9万円

事故区分ごとに集計したところ、対人事故が52.3%と半数を超える結果となり、平均支払保険金は99,208円でした。また、全事故の平均支払保険金は79,230円となりました。

事故区分	件数(件)	割合(%)	平均支払保険金(円)
対人	287	52.3	99,208
対物	114	20.7	73,459
対どうぶつ	91	16.6	25,106
その他(複合事故)	57	10.4	76,588
計	549	100.0	79,230

■事故の発生が多いのは日曜日

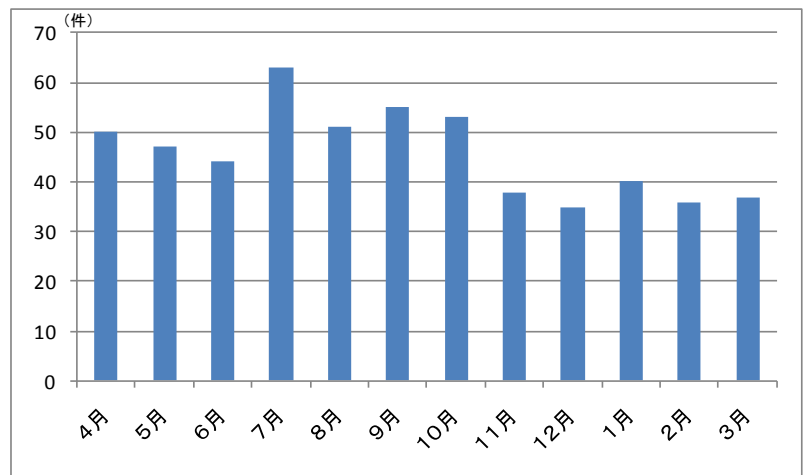
事故の発生した曜日では、日曜日が19.5%と最も多く、土曜日が16.2%と続きました。土曜、日曜を合計すると35.7%となり、休日に事故が多く起きていることがわかります。

月別の発生件数では、7月が63件と最も多く、4月から10月までの期間は、50件前後の件数が発生しているのに対し、外出の機会が減る11月から3月の期間では40件以下でした。

【曜日別事故発生件数】

曜日	件数(件)	割合(%)
日曜日	107	19.5
月曜日	81	14.7
火曜日	63	11.5
水曜日	69	12.5
木曜日	70	12.8
金曜日	70	12.8
土曜日	89	16.2
計	549	100.0

【月別事故発生件数】



■犬種別の事故発生率は秋田犬がトップ

賠償責任特約を付帯している契約数を基に、犬種毎の事故の発生率を集計したところ、「秋田犬」が3.6%と最も高く、「スタンダード・プードル(3.1%)」、「パーニーズ・マウンテン・ドッグ(1.4%)」と続き、小型犬よりも大型犬において事故の発生率が高い傾向が見られました。また、事故件数が最も多い犬種は「柴犬」の85件でした。

犬種	事故の発生率 (%)	事故件数 (件)	事故件数に占める割合 (%)
秋田犬	3.6	12	2.2
スタンダード・プードル	3.1	10	1.8
パーニーズ・マウンテン・ドッグ	1.4	13	2.4
ボーダー・コリー	1.1	19	3.5
ゴールデン・レトリバー	0.9	34	6.2
柴犬	0.8	85	15.5
ラブラドル・レトリバー	0.8	36	6.6

■対物事故は小型犬も要注意

対物事故で多く見られたのは、「衣類やバッグ、メガネなど身の回りの品物を破いてしまった、齧ってしまった」という事故で、犬種を問わずミニチュア・ダックスフンド、トイ・プードルなどの小型犬でも発生しています。

大型犬では、「自動車のボディを爪で傷つけてしまった」という事故が多く発生しています。

対物事故	件数(件)
衣類	22
自動車	19
バッグ	7
メガネ	6
携帯電話	6
靴	5

■対人事故は自宅で多く発生

対人事故が発生した場所で最も多かったのが「自宅」の130件でした。「庭で遊んでいる時、訪問客に喜んで飛びつき、そのはずみで転倒し骨折してしまった」「ドアの隙間から出てきて宅配業者の配達員に噛みついた」「おやつをもらった時に手を噛んでしまった」など、日常生活の中で事故が起きていることがわかります。

次いで多かったのが、「散歩中」の103件でした。「リードを着けていたが伸縮性のリードだったため制御がきかず走りだし、噛みついてしまった」「首輪、リードが外れてしまった」「触ろうとした相手の手を噛んでしまった」などが発生しています。

また、散歩中は、「出会いがしらに噛みついてしまった」「おもちゃの取り合いになり相手の犬にケガをさせてしまった」など対どうぶつの事故にも気を付ける必要があります。

対人事故の発生場所	件数(件)	割合(%)
自宅	130	45.3
散歩中	103	35.9
友人、知人宅	11	3.8
(飼い主の)実家	7	2.4
イベント会場	5	1.7
公園	5	1.7

ゴールデンウィークを迎えるこれからの季節は、愛犬と外出する機会も多くなります。「リードを着けているから大丈夫」「普段おとなしいから大丈夫」と油断せず、思わぬ事故を予防しましょう。

【調査方法】2011年4月1日から2012年3月31日に受付し、保険金をお支払いした賠償責任事故549件を集計